

平成 24 年度 理事会議事録**【平成 24 年度 第 5 回理事会議事録】**

1. 日 時 平成 24 年 12 月 9 日(日)
午後 12 時 30 分～午後 15 時 00 分
1. 場 所 東京医科歯科大学 1 号館 9 階 会議室
東京都文京区湯島 1-5-45
1. 理事現在数 19 名(理事定数 10 名以上 20 名以内、定款第 11 条)
1. 出席理事 14 名 三村邦裕(理事長)、利光 央、吾妻美子、森山隆則、
伊藤昭三、今井 正、岩谷良則、木村 明、城田恵次郎、
寺平良治、戸塚 実、永尾暢夫、松下 誠、和合治久
1. 欠席理事 5 名 森田耕司、小市加陽子、山藤 賢、谷口菊代、細井英司
2. 欠席回答 5 名 森田耕司、小市加陽子、山藤 賢、谷口菊代、細井英司
(書面評決)
1. 出席監事 2 名 信岡 学、渡邊正友
1. 報告事項 (1) 第 7 回日本臨床検査学教育学会学術大会について
(2) 第 8 回日本臨床検査学教育学会学術大会について
(3) 学術誌第 5 巻第 1 号発行について
(4) 各部会報告
(5) その他
① 平成 23 年度版 臨床検査技師国家試験出題基準の改正案について
② その他
1. 議案審議 第一号議案 第 9 回日本臨床検査学教育学会学術大会について
第二号議案 定款・諸規定の変更について
その他

議事の経過および結果

理事長 三村邦裕 が議長となり、定款第 21 条に規定する理事総数の過半数以上が出席し、所定の定足数に達したので、開会する旨を宣した。

議案の審議に入る前に事務局長 伊藤昭三 より、議事録署名人を「寺平良治、戸塚 実」の両名に指名し、議事録作成者として事務局長補佐 小林隆志 を陪席させる事について提案があり、異議なく全員で承認した。

陪席者 小林隆志(事務局長補佐)

1. 報告事項

(1) 第7回日本臨床検査学教育学会学術大会について

大会長 寺平良治より会議資料に基づいて、第7回日本臨床検査学教育学会学術大会を開催するに当たり、開催された実行委員会、プログラム委員会、実務委員会等の開催期日や学術大会の参加人数、収支決算についての報告が行われた。

(2) 第8回日本臨床検査学教育学会学術大会について

大会長 岩谷良則より、会議資料に基づいて、平成25年8月26日(月)～28日(水)に大阪大学コンベンションセンター・大阪大学医学部保健学科で行われる第8回日本臨床検査学教育学会学術大会の準備状況、予算、概要について報告が行われた。

また、大会長より、第8回日本臨床検査学教育学会学術大会において、学生発表演題に、優秀な研究・発表に対して表彰を行いたい旨の申し出があった。

この申し出に対し、賞金、審査の方法、審査委員の依頼などについて意見が出され、協議の結果、審査委員は大会長より依頼し、審査基準を定めて、学会大会長名で表彰を行うことを決定した。

更に、教員の科目別委員会を行いたいとその意義等について説明・報告があった。

次に研修委員会委員長 永尾暢夫より、学術大会に併せて行われる教育研修会の準備状況について報告が行われた。

(3) 学術誌第5巻第1号発行について

編集委員長 森山隆則より学術誌第4巻第2号を発刊したこと、また、来年3月に第5巻第1号の発刊を予定している報告が行われた。

(4) 各部会報告について

① 北海道・東北部会：会議資料に基づいて、平成24年8月1日に行われた北海道・東北部会の報告が行われた。

② 近畿・中国・四国部会：会議資料に基づいて、平成24年6月30日に行われた近畿・中国・四国部会の報告が行われた。

③ 九州・沖縄部会：会議資料に基づいて、平成24年9月14日に行われた九州・沖縄部会の報告が行われた。

(5) その他

① 平成23年度版臨床検査技師国家試験出題基準の改正案について

厚生労働省国家試験室より臨床検査技師国家試験出題基準の改正委員会を立ち上げるので、協議会で改正案を提出していただきたいと打診があり、大変短い期間であったが、各学校に協力を頂き意見を提出したと報告があった。

② 科目別教員名簿の作成配布について

岩谷理事より、科目別委員会を立ち上げ、準備として、別添資料の科目別教員名簿を作成した。明日総会で各学校へ1冊ずつ配布したい。名簿は個人情報を含んでいて守秘義務があるので、取り扱いには十分気を付けて頂きたいと報告があった。

③ 顕彰について

顕彰規定に基づいて永年精励賞候補を推薦していただき、資料のとおり18名を臨時総会時に表彰したいと報告があった。

④ 役員選考委員会について

役員選考委員会 市村委員長より、前回の総会にて承認された役員選考委員会が立ち上がり、第1回委員会を開催し委員長等を選出し、理事長選挙日を平成25年5月20日に決定した。また、理事候補者の選出を、教育年限別・地区別・公立私立別等考慮してバランス良く20名を選出したいと報告があった。

⑤ 実習安全指針について

研修委員会 永尾委員長より、研修委員会で作成した実習安全指針を改良して別添資料の神戸常磐大学版実習安全指針を作成した。臨時総会で配布したいと報告があった。各学校で指針を作成する参考にしていただきたいと報告があった。

⑥ 日本赤十字社血液利用について

以前の理事会等で報告した日本赤十字社の血液の譲渡について、赤十字の申請期間が平成24年11月28日から平成25年1月9日までとなったため、協議会で取りまとめるには時間がなく、各学校で対応してほしいと報告があった。

1. 議案

第一号議案 第9回日本臨床検査学教育学会学術大会について

学会長山藤が欠席のため議長より、臨時総会で第9回日本臨床検査学教育学会学術大会の開催について説明があった。

協議の結果、全員異議なく承認された。

第二号議案 定款・諸規定の変更について

議長より、別添会議資料に基づいて、次のとおり定款・諸規定の変更点の説明があった。

定款・諸規定変更点

① 定款 6条 入会申込時の会費について

入会申込時に会費を添えることになっているが、その文言を削除し、入会が承認されてから会費を納入することにした。

② 定款 12条等 役員の選任について

代表理事(理事長)の選出は、総会選挙によって決めることになっているが、法人法に併せて理事会で決することにした。

③ 定款 14条等 役員の任期について

理事長の任期についての規定はあるが、役員理事の任期の規定がないので、任期(定年)を規定したい。

④ 定款 23条等 理事会議事録の署名捺印について

現状の定款では、法務局等への議事録の届け出には、出席理事全員の署名捺印が必要となっているが、定款に議事録の署名捺印は代表理事のみとしたい。

監事の職務について、会計監査のみでなく「会務執行に意見を述べる」という文言を追加した方が良いと意見が出された。

議長より条文の変更については司法書士と相談の上、作成したいと説明があった。

協議の結果、全員異議なく承認された。

第三号議案 その他について

① 大学院への臨床検査技師教育現状調査の依頼について

文部科学省高等教育局より、臨床検査技師教育は指定校は1校のみで承認大学がほとんどである。臨床検査技師教育を行っている大学院の現状が把握できていないので、協議会で調査してほしいと依頼があった。事務局よりアンケート調査を行いたいので協力してほしいと説明があった。

協議の結果、全員異議なく承認された。

② 4年制薬学部出身者の国家試験受験について

厚生労働省医政局より4年制薬学部出身者の国家試験受験は現行の法規では、5科目履修承認で受験が可能であるとの見解であると説明があった。

協議会の承認大学では、5科目だけでなく臨床検査技師指定規則に従った科目を履修させている。安易に資格が取得できるというのは、いかがなものか、できれば技師会等と合同で要望書等を提出した方がよいと意見が出された。

協議の結果、全員異議なく承認された。

よって議長は、議事終了の旨を告げ、散会した。

以上の議事の経過及び結果を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人において、次に記名押印する。

平成24年12月9日

議長(理事長) 三村 邦裕 印

議事録署名人 寺平 良治 印

議事録署名人 戸塚 実 印